

津野町姉妹まち訓子府町交流事業

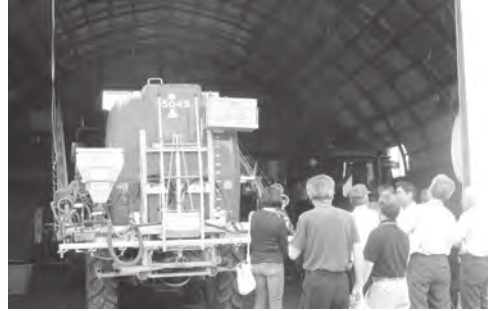
平成28年度津野町姉妹まち訓子府町交流事業に、米ナス農家の豊田坂江さん(芳生野)、直販所生産者兼経営者の島崎康章さん(姫野々)、津野町商工会女性部長の西森富美子さん(白石)と役員産業課職員の前田綾子の4名が7月9日から11日までの3日間参加しました。そのほか、津野町農業委員会(引率者含む)11名、津野町神楽保存会10名の総勢25名で姉妹町訓子府町へ訪問さ



広大な甜菜畑前で訓子府農業委員会事務局長から説明を受ける

せていただきました。9日は、農業委員会と産業交流団で、地元の農家を視察。1軒目は主に玉葱や甜菜を作られている坂本農園の坂本稔さん。2軒目は、訓子府町農業委員会会長であり、町内では珍しく家族経営協定を結んで農家をされている清井農園の清井敏行さんのところへ訪問させていただきました。

坂本さんは総面積21・76ヘクタールの広大な農地を持っており、玉葱の収量は469トンと、こちらの農家では考えられないような



清井さんより農業用機械の説明



大規模な農業経営に皆驚いていました。また、清井さんは経営面積11・4ヘクタールで玉葱を栽培、広大な農地での栽培には機械は必須で、倉庫にある農業用の機械を紹介していただきました。

玉葱移植機からハーベスターなど、約10台もの機械を所有しており、北海道での農業経営の大変さを感じました。

その夜は「くんねつぶふるさとまつり」の前夜祭を見学。今年には訓子府町開基120周年ということで、津野町の古式神楽を特別上演。大勢のお客様に囲まれ、普段見ることの無い舞に、

訓子府町の皆さまも大変喜ばれておりました。2日目は「くんねつぶふるさとまつり」の本祭に参加。来場者に津野町特産の「米ナス」「小ナス」「甘トウ」「ミヨウガ」と、奥四万十博開催期間中ということ、奥四万十博のパンフレットとペットボトル入りの「奥四万十の水」を配布し喜んでいただきました。まつり会場では地元小中学生による吹奏楽の演奏をはじめ、豪華歌謡ショー



道道を封鎖した中で仮設ステージを設置しての古式神楽の上演



訓子府町役場前で人事交流員の竹内君と訓子府町訪問団

やキャラクターショー、お笑いステージなど楽しいアトラクションに加え、この日も開基120周年特別記念として、津野町の古式神楽と坂東流英乃の会の日本舞踊が上演され、多くの観客で賑わっていました。

3日間という短い間でしたが、その間、菊池町長をはじめ農業委員会、県人会、元二〇〇〇年会、町役場職員の皆さま、町民の方がたに気軽に声をかけていただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。

訓子府町の皆さま、本当にありがとうございました。(産業課)